

修郎先生の事件簿

〜就労ビザ専門会社の現場から〜

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、武漢ウィルス(新型コロナウイルス)の影響で入事交代はできないし、現駐在員の滞在許可(ITAS)の延長もできないから

鈴木 期限切れも起きそうだよ。

佐生修郎 イミグレ当局が処理サービスを停止しちゃっているからね。大規模社会的制限(PSBB)が解けるまでは再開しようがないぞ。早くてもレバラン明けだと思おうよ。

鈴木 ええっ、困るよ。新規取得者やら延長更新する人やら、日本に緊急退避している人もいるし、どうしたらよいか頭が混乱しているよ。

佐生 そうだよ。では、一緒に整理してみようか。「新規」と「延長」とを分けて考えるよ。

鈴木 「新規」の人でVTT、TELEXが未だ発行されていない人は、イミグレ当局のサービスが開始されて処理できる時が来るまで待つだけだよ。

佐生 その通り、ただ待つだけだ。翻って、VTT、TELEXが既に発行されている場合には、60日間の有効期限内にビザを申請しなければならぬ。だけど、今、インドネシア大使館ではビザ申請を受け付けていない。もし60日の期限が切れてしまったら既存のVTT、TELEXは自動的に失効してしまう。そうになったら、ふたたびイミグレ総局に依頼して新しいTELEXを再発行してもらうことになる。

鈴木 手立てはありそうだね。では、ビザを既に持

っている人はどうなるの？
佐生 ビザ取得日から90日以内にインドネシアに入国しなければならぬ。90日を過ぎても入国できなかったらそのビザは失効する。今はインドネシア側の制限で入国ができない。だから期限が切れたら残念だけど現有ビザは失効して、最初に戻り、労働省への申請からやり直した。

鈴木 うわっ。納得いかないけど、状況に身を委ねるしかない時もあるのだね。次は「延長」の人の場合を教えてください。

佐生 労働省で就労許可(NOTIFIKASI)の延長までは処理できるから、そこまでは進めておくのだ。本来、その次にITAS延長申請となるのだけど、イミグレ当局がサービス停止中だから、NOTIFIKASI延長完了まで一旦ストップ。当局のサービス再開をひたすら待つことになる。

鈴木 待つだけじゃあITAS期限が切れてしまっじゃないか。

佐生 期限が切れてもかわらない。イミグレ当局の特別な救済措置によって「やむを得ない場合の滞在許可(IZIN TINGGAL KEADAN TERPAKSA」略称ITKT)」というのが手続き無しで自動的に付与される。

鈴木 ITKTは出国しては駄目なのだね。

佐生 駄目だ。出国すると現有ITASまで失効してしまうぞ。ITAS延長処理はインドネシア国内でしか処理できないのだよ。

鈴木 でも、日本本社からの退避命令で日本に一時帰国している人もいるのだよ。彼らのITAS期限が日本退避中に切れてしまっ

たらどうなるのさ？

佐生 ITSA期限日までにインドネシアに戻って来なければITAS延長ができない。つまり失効する。

鈴木 そうしたら、最初から就労ビザを取り直すことになるよ。何か救済措置は無いの？

佐生 今のところない。でも、各方面から救済措置を陳情中だと聞いている。

鈴木 「ITAS保持者がコロナ事由で国外へ退避中にITAS期限が切れた場合には、期限が切れていても再入国が認められ、インドネシア国内でITAS延長処理ができるように」そんな救済措置を求めているのだね。

佐生 そうだ。今回のコロナ禍では、日本大使館やジャパンクラブの関係者がちが日本社会の為に尽力してくれている。今は平時ではなく準戦時とも捉えられているから、オールジャパンで立ち向かう気持ちを持つ事が大切だね。

鈴木 そうだね。僕も何かをしてもおもうとばかり考えず、日本社会の為に何ができるかを考えてみるよ。

佐生 おっ、ジョンFCネデイ演説をバクったね。一郎君カッコ良い。

こいけ・ゆうち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。53歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

X X
「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。

コロナ禍でビザはどうなる？



小池雄一

佐生修郎 心得えの条

一 イミグレ当局がサービス再開されないと進まない事が多い。どうにもならない事もあると状況に身を委ねられる事も大切な能力。

二 コロナ禍は平時ではなく準戦時と捉えらる。インドネシアの日本社会の為に何が出来るかを考えるとカッコ良い大人になれる